

教材文

ぼくらのビー玉コースター

図工の時間に、四人のグループでビー玉コースターを作ることになった。たかしは、さとる、やす子、よし美とのグループだ。

「さとるくん、ぼくたち二人いれば、クラスで一番かっこいいのができるぞ。」

「そうだね。みんなをびっくりさせたいね。」

「ちよっと、わたしたちを忘れないで。よし美とわたしがいれば、ばっちりよ。」

グループで、さっそく作り始めた。

「たかしくん、コースのこは、わざと、がたがた道にしたほうがいいよね。」

「さとる、ナイスアイデア。それでいい。ぼくは、このカーブを作るよ。」

よし美は、

「ここは、ビー玉がストーンと落ちるようにするわ。」

やす子は、

「こっちは、ぐるぐる回るようにする。」

と、みんなやる気満々で、それぞれの考えや、気付いたことから、さまざま工夫をして作っていった。

すると、たかしがとつぜん、コースターをささえる柱を見つめながら、

「これ、コースのじやまだよ。」

と言った。その柱は、さとるが作ったところだ。

(ぐらぐらしていたから、じょうぶにしようと思って柱をふやしたのに。……)

さとるは、柱を作った理由を口に出そうとしたが言えなかった。

「もうちよっと考えて作ってよ。お願い。」

「ごめん、ごめん、ここにコースを作るって思わなかったから。この柱は取るね。」

さとるは、いつも、自分が思っていることを言えなくて、このようになってしまう。悲しそうな顔をして柱を取る。やす子とよし美は見ていた。

しばらくすると、たかしがまたおこり始めた。

「なんで、こんなテープのはり方をするんだよ。じやまになって、これじゃあ、速く転がらないよ。速く転がって、急カーブになるほうがおもしろいんだからさ。」

「そうしたのは、わたしだけだ。ゆっくり転がるほうがいいじゃない。」

やす子は、むっとした顔で答えた。

「ちがうね。だいたい、やす子はさつなんだから、あまり手を出さないでほしいな。」

「ひどい。」

やす子はいすにすわってうつむいてしまった。こみあげてくる感じようをこらえているようだった。たかしは、ちよっと言いすぎたことに気づいた。しばらくするとチャイムが鳴り、作業が進まないまま三・四時間目の図工の時間が終わってしまった。

その日は、それ以後、四人が言葉をかけ合うことはなかった。

下校の中、たかしは、図工の時間を思い出して、

「どうしよう。」

と、つぶやいた。

東京都教育委員会『小学校版 東京都道徳教育教材集』
(由良 隆 作)

【資料等】

↓ 中心発問等で使用するワークシート

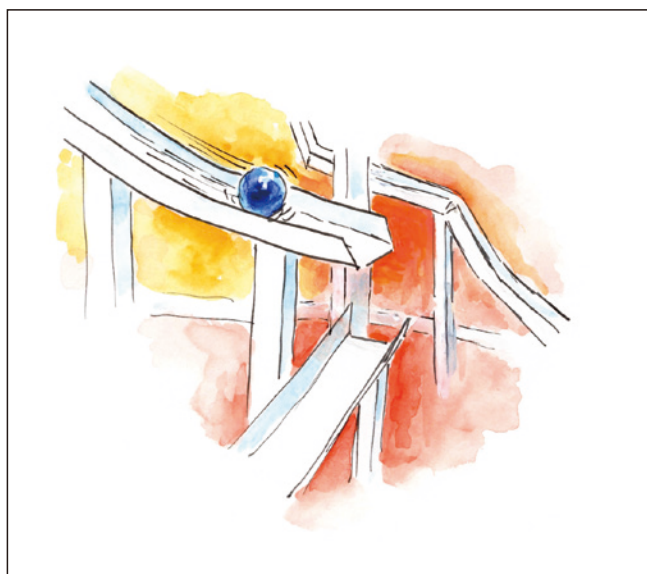
★ ★ 今日学習で、気づいたことや考えたことを書きましよう。

★ みんなで一つの作品を作ることのむずかしさはどこにあるのでしょうか。

〔小学校〕道徳科学習ワークシート

年 組 番 名前

↓ 授業で使用する『小学校版 東京都道徳教育教材集』の絵 (56 ページ)



1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

いじめをすることなく、誰とでも公平に接しようとする態度を育てる。

◆評価

誰に対しても分け隔てなく、公平な態度で接しようとする意識を高めることができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

◆主な使用教材

・「同じ仲間だから」（文部科学省『わたしたちの道徳』小学校3・4年）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 いじめの捉え方を確認する。 ◇ 『わたしたちの道徳』179ページの絵を見て、気付いたことを発表しましょう。	○ 一人である女の子に焦点を当てて、いじめ問題につながる場面であることを確認させる。
展開 35分	2 教材「同じ仲間だから」を読み、話し合う。 ◇ 朝、クラスみんなは「台風の日」の競技でどうしたら勝てるか相談しています。どんな話をしているのでしょうか。 【中心発問】ひろしが光夫君に、「休んだ方がいいんじゃないか。」と言ったことについて、あなたはどのように思いますか。 3 教材「同じ仲間だから」78、79ページを読み、とも子はいじめを止めたことを確認する。	○ いつも負けてばかりいるため、どうしても勝ちたい気持ちを強くもっていることを押さえる。 ○ 同じ仲間でありながらも、利害関係が絡むと仲間の立場を考慮できなくなる人間の心の弱さを考えさせる。
終末 10分	4 学習を振り返り、分け隔てをしないために大切なことを考える。	○ 『わたしたちの道徳』183ページの欄に記入させ、ペアで意見交流する。

板書例

○分けへだてをしないために、大切なこと

・ひろしは、光夫君がけがをして、よかったと思っているんじゃないかな。
・二度も「休んだら」と言っているのは、光夫君が休んだら勝てると思っているからだ。
・それに、とも子に聞いているのは、自分の味方をさせようとしているように感じる。

でも、休んだ方がいいんじゃないか。



ぼく、休まないよ。

・指をけがしているのだから、無理をしない方がいい。
・でも、光夫君自身が大丈夫と言っているのに無理やり休ませようとしている。

○ひろしが光夫君に、「休んだ方がいいんじゃないか。」と言ったことについてどう思うか。



同じ仲間だから

・光夫君がいなければ勝てるのに。
・そんなこと言わずに、勝つことができないようにもつと練習しよう。



教材文

同じ仲間だから

「今度こそがんばらなくては。」
 「負けるものか。でも、やっぱり無理かな。」
 運動会が近付き、今日の体育は学級対この「台風の目」という競技の練習です。この競技は、三人一組が横にならんで竹のぼうを持ち、前方に立てられた二つの旗をできるだけ早く回ってくる競争です。二組の教室では、登校してきた人たちが、その話に夢中でした。
 とも子が教室に入ると、
 「ひろし君も、ともちゃんもがんばってね。」
 という声が聞こえてきました。ひろしは、
 「だって、ぼくたちのグループには、光夫君がいるんだものな。ともちゃん。」
 と、とも子の方をふり向いて不満そうに言いました。とも子も、「そうねえ。」と、相づちを打ちました。
 光夫は、何をするにもおそいのですが、運動は特別苦手なのです。この前の練習のときは、光夫と組んでいたとも子たちのグループがおくれたので、二組が負けてしまいました。また、水泳大会のリレーでも光夫がぬかれて負けたことがあります。そのため、負けることが多い二組の人たちは、(今日こそ勝ちたい)と強く思っていました。
 みんなは、いつの間にか教室の後ろの方に集まって、どうしたら勝てるか相談を始めました。とも子もひろしも、その仲間に入りしました。
 そのとき、ランドセルを背負った光夫が教室に入ってきました。
 「おはよう。」
 みんなは、光夫とあいさつをしながら、おやっと思いました。光夫の指には包帯がまいてあったからです。だれかが、「光夫君、どうしたの。」と聞くと、光夫は、
 「自転車のそうじをしていて、指をはさんでしまったんだ。」
 と言いながら、背中をランドセルをおろして、つくえの上に置きました。
 ひろしは、何を思ったのか、光夫にかけより、
 「光夫君、今日の体育はどうするんだ。休むのかい。」
 と聞きました。光夫は、
 「ぼく、休まないよ。指だから体育はできるよ。ほら。」
 と、包帯をしている指の顔の辺りまで上げて、びくびく動かして見せました。
 「そうかい。でも、休んだ方がいいんじゃないか。ともちゃん、どう思う。」
 とも子は、ひろしの言葉にはっとしました。(そのくらいいのがあったらできるはずだ。光夫さんを休ませるなんて、そんなことはいけない。でも、光夫さんが入ればやっぱり……。)

文部科学省『わたしたちの道徳』小学校三・四年



【資料等】

↓中心発問等で使用するワークシート

★ ★ グループ、全体の話し合いから、考えたこと

★ 小学校「道徳科学習ワークシート」
 年 組 番 名前

★ 自分の考えをまとめ、友だちと話し合いました。
 ひろしが、光夫君に、「休んだ方がいいんじゃないか。」と言ったことについて、あなたはどのように思いますか。

↓導入で使用する『わたしたちの道徳』の絵 (179 ページ)

